

学生の支援が最優先

任期折り返し・五神総長に聞く施策と今後の狙い



このかみ まこと 五神 真 総長

83年理学系研究科博士課程退学。理学博士。工学系研究科教授などを経て、15年より現職。

多様化目指した施策

「この3年間、総長として大切にしたいことは、社会を支えるさまざまな組織・活動の中で、大学の重要な役割は、何十年、何百年もの先の将来に向けた貢献をすることだ。そのために、大学のリソースをどのように使い、どこに先行投資するべきか、優先順位をきちんと示すことが大を運営する際に重要だろう。今東大が最優先で支援しなければならないのは、学生と若い研究者だ。」

「学生に対する支援といえは、2017年度から女子学生に対する家賃支援制度を導入して話題を呼びました。制度導入の背景にはどのような思いがあったのでしょうか。」

東大で学生の均質化が進んでいるかもしれない、と狭い世界で育ったのかもしれない。東大には留学生をはじめ、さまざまな環境で育った学生もいる。この多様性を目を向けてほしい。自分は異なる考えを持つ人々と交流することは大生活を送るものにするだろう。

世界の多様性に目を向けることは、より広い視野で自己を相対化することにも役立つ。日本は均質的な国としても、世界との多様性を支える重要なパートナーと見られる。世界的な調和的発展のためには多様な性を活かすことが重要。それに気付けば、東大

方々との集いに参加した際、ある先生の話が印象に残った。「保護者の皆さんは、実は以前からのお知り合いだったんじゃないですか」。つまり、子どもが進学塾に通っていた小学生のころからの保護者仲間が、皆で連れ立って東大の保護者会に足を運んだんじゃないかと笑。つまり、東大生の多くは入学前から同じメンバーに囲まれ、意外と狭い世界で育ったのかもしれない。

「女子学生は東大生全体の2割に満たず、家賃支援制度の主な対象者である地方出身の女子学生は、さらに少数派です。なぜ東大に進学する地方出身の女子学生数は少ないのでしょうか。」

東大の魅力は、彼女らに十分伝えることができていないのだ。例えば地方では、理系の優秀な女子学生が地元大学の医学部に進学する傾向にある。

歓迎の意伝え続ける

「制度の導入から1年。手心えは、説明したように、「家賃支援があるから東大に行く」と考える地方出身の女子学生を増やすためにしているのではない。こうした制度を通じて、まずは東大は女子学生を歓迎するというメッセージを強く打ち出したかったのだ。それが結果につながればもちろん良いが、メッセージを出し続

けること自体が大切。女子学生に限らず、東大を選択した学生が少しでも安心して勉強できる環境を整えることが重要だろう。」

変化の時代に若手の力を

五神総長にインタビュー(=1面より続く)

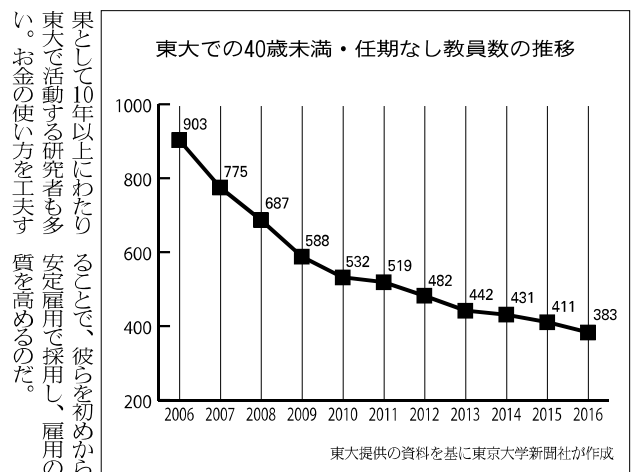


研究者の雇用安定化を急ぐ

— 学生への支援と同時に、雇用の安定化など若い研究者への支援にも力を入れています。その狙いは、現代社会は高度経済成長期と違って、目指すべき明確な目標は存在しない。次に何をすべきか、自分たち自身で考えないといけない。そのためには頭が柔軟な、優秀で意欲的な若い研究者を大学が多く育むべきだ。新しい学問を次々に生み出す価値を創造するこ

とが求められる現代では、30代で研究室を持ち、落ち着いて野心的な研究ができる環境整備がこれまで以上に重要になっている。ただ、国立大学法人化以降、それができなくなっている。40歳未満の若手研究

私が総長として取り組む最重要課題だ。国の財政は大変厳しく、大学にだけ国の支援を増やしてほしいという要望はなかなか通らない。大学は限られた財源をいかに有効活用するかが問われている。



教育・研究に没頭できる環境へ

— 著書の中では、教員の特定の曜日や時間帯を教育研究のために優先確保する「アカデミックコアタイム」について言及しています。今後、導入の可能性はありますか

— 著書の中では、教員の特定の曜日や時間帯を教育研究のために優先確保する「アカデミックコアタイム」について言及しています。今後、導入の可能性はありますか

— これまでの3年間の振り返りと、今後の展望をこの3年間で、東大をどう変化させていくか、という方向性を示すことができたのではないかと思う。残り3年間の任期は、改革を定着させ、さらに発展させるための時間だ。東大の取り組みを国内外に発信したいとも考えている。

— 最後に、学生へのメッセージを

私は、君たち若い世代がとてもうらやましい。大きなチャンスが待っているからだ。確かに、現代は過去と比べて、明らかに今後の人生の見取り図を描くことが難しくなった。これから東大卒のブランドが役に立たなくなる可能性も非常に高いと思う。だが目まぐるしい速度で社会が変化をしてくっていくことは、自分の方で勝負がしやすい、という点でもある。大樹の陰に隠れていては駄目だ。「どんな変化も前向きに捉える」という姿勢が、これからの人生を楽しく過ごす上で重要になると思う。変化の時代を楽しんでほしい。